

公共調達の適正化について(平成18年8月25日付財計第2017号)に基づく随意契約に係る情報の公表(物品・役務等)
及び公益法人に対する支出の公表・点検の方針について(平成24年6月1日 行政改革実行本部決定)に基づく情報の公開

様式3-4

令和4年度契約

物品役務等の名称及び数量	契約担当者等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約を締結した日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	随意契約によることとした業務方法書又は会計規定等の根拠規定及び理由	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	公益法人の場合			備考
									公益法人の区分	国認定、都道府県認定の区分	応札・応募者数	
海外業務請負:国際稲研究所(フィリピン)における「間断灌漑に係る技術レポート作成業務」	国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 理事長 小山 修 茨城県つくば市大わし1-1	令和4年10月4日	国際稲研究所(IRRI) International Rice Research Center Pili Drive, Los Baños, Laguna 4031, Philippines	当該研究機関は、国際農業研究協議グループ(CGIAR)傘下の国際農業研究機関で、世界でも有数のイネを研究する機関である。今回の基準となる間断灌漑技術・AWD(Alternate Wetting and Drying)を開発した研究機関であり、アジアを中心とする水稻生産国で普及活動を展開している。これに伴い、アジアモンスーン地域の多くの国の圃場でAWD導入のための試験を行い、その結果を論文等文献に取りまとめ公表している。JIRCASでも間断灌漑に関連した研究に取り組んでおり、試験結果を公表しているもの、現在試験実施中のものがある。いずれも、間断灌漑の代表的技術であるAWDと比較し、あるいはAWDを参考に試験設計等を行っている。 一方、その他の間断灌漑技術が存在する可能性があるため、文献を広くレビューすることが求められる。こうした文献レビューを広く行ってAWDを中心とする間断灌漑の全体像を俯瞰し分析し、その結果を取りまとめるとともに、今後の間断灌漑の普及の可能性を展望し、レポートに示すこととしている。間断灌漑の代表的な技術であるAWDに深い造形、豊富な現場経験、試験データと分析による多くの知見、公表された文献を有する者が本件の委託先として最も適していると考えられるため、委託先として選定した。 会計規程第38条第1項第1号	—	4,551,670	—					

※公益法人の区分において、「公財」は、「公益財団法人」、「公社」は「公益社団法人」、「特財」は、「特例財団法人」、「特社」は「特例社団法人」をいう。
(注)必要があるときは、各欄の配置を著しく変更することなく所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができる。